

日 時	令和 8 年 8 月 19 日（水） 11:00～12:00 第 3 回経営会議
出席者	平原副市長、佐藤副市長、鈴木副市長、松浦副市長、技監、政策経営・国際戦略局長、行財政局長、総務局長、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局長、市民局長、港南区長
欠席者	政策経営・国際戦略局政策調整担当理事
議 題	1 三ツ沢公園再整備（新球技場の建設）について【みどり環境局】
議 事 要 旨	【論点】 ・ 令和 4 年 12 月公表の「三ツ沢公園再整備基本構想（案）」及び、令和 7 年 6 月公表の基本構想案の見直し（施設配置）に基づき公園のリニューアルを進めるにあたり、トップレベルのスポーツ観戦と市民のスポーツ利用を両立させるため、新球技場及び多目的広場の整備の具体的な方向性を定める。 ・ 新球技場等の整備にあたり、財政負担の平準化と民間事業者のノウハウの活用を図るため、PFI を採用し、今後の検討を進める。 【説明要旨】 ・ ニッパツ三ツ沢球技場は築 60 年を超え老朽化が進むとともに、現在の J リーグ基準を満たしていない。また、公園施設全体で老朽化が進んでいる。 ・ 三ツ沢公園について、トップレベルのスポーツを快適に観戦できる新球技場を核として、スポーツを通じて豊かな時間を過ごせる公園へのリニューアルを進める。 ・ 新球技場及び中央広場の整備においては、求められる機能や運営に考慮しながら、PFI により実施する。 【主な意見等】 ・ 公園整備事業全体を考慮し、財源創出やニーズに基づく整備水準をより具体的に計画した上で、引き続き整備費の縮減に向けて関係局と協議すること。 ・ 他都市では近年、民設・民間負担による球技場整備事例も一定数あり、公民連携手法の導入による「財政負担の軽減や公園の魅力向上」などに寄与するだけでなく、まちのにぎわいづくりの観点からも相乗的な効果が創出されている。こうした事例を分析し、当該検討に反映させること。 ・ 運営費における市負担の縮減を図るため、新球技場だけでなく、三ツ沢公園全体での公民連携による魅力向上や民間収益の還元などにより、公園全体にかかる収支の試算について早急に示し、関係局と協議すること。 ・ 三ツ沢公園と深谷通信所跡地公園の整備に関連する周辺区には、適宜情報提供を行うこと。 ・ カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーについても、公園整備の方向性として取り入れる検討を進めること。 ・ 暑熱対策は重要であり、横浜グリーンエクスポにおける取組をレガシーと捉

	え、三ツ沢公園の整備にも取り入れることを検討すること。 ・ 企業版ふるさと納税により財源創出を検討することについて、現時点では制度の適用期限が令和９年度であるため、制度継続の有無など、国の動向を注視しながら進めること。 ・ 三ツ沢公園は、スポーツだけでなく、にぎわいの創出など幅広い視点で広く市民が集える公園として整備を進めていくこと。 【結論】 <u>主な意見を踏まえつつ、局案について了承。</u>
--	---